（作成者：クリニカルパス専門部会）

腱板修復術を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／ 手術1日前	2病日 ／ 手術当日（手術前）	2病日 ／ 手術当日（手術後）	3病日 ／ 手術後1日目	4～8病日 ／～／ 手術後2～6日目	9～15病日：退院 ／～／ 手術後7～13日目
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・循環動態が安定している			・退院指導の内容を理解できる ・創部の発赤、浸出液、熱感などの感染徴候がない
				・離床ができる		
			・肩の装具を装着し、良肢位が保持できる ・装具による圧迫感や皮膚の変色がない			
	・痛みによる苦痛がない					
内服	薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します	・指示された薬のみ内服してください		・痛み止めと胃薬を1日3回、毎食後に内服します（7日間）		
手術		手術				
注射		・点滴をします		・点滴を抜きます		
検査	・身長・体重測定			・採血	・採血 （手術後4日目）	・採血/レントゲン（手術後7日目） ・体重測定（退院日）
処置		・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・フットポンプを外します ・弾性ストッキングを脱ぎます		
			・手術室で尿の管を入れます	・尿の管を抜きます		
			・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・心電図、酸素飽和度モニターを外します		
			・手術した肩を機械で冷やします	・離床後からはアイスノンで創部を冷やします		
				・創部が見えるフィルム剤を貼ります	・フィルム剤を貼り替えます（必要時）	・退院前に抜糸をします
食事	・夕食後は指示された時間から飲食はできません	・指示された時間までは飲水できます ・食事はできません	・医師の指示後、飲水できます ・食事はできません	・朝食（常食）から開始となります ・手術してない方の手を使って食べてください		
活動・安静	・制限はありません	・病室内でお過ごしください	・ベッド上安静です ・寝返りやベッドの頭元をあげたい時、排便時は、ナースコールでお知らせください	・点滴抜去後は歩行できます ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください	・制限はありません	
			・肩の装具を装着します。肩の装具は常に装着してください			
清潔	・シャワー浴をしてください	・洗面、歯磨きを済ませてください	・洗面、歯磨きを介助します	・身体を拭きます	・創部にカバーをしてシャワー浴ができます ・洗髪は介助します ・シャワー時には肩外転位を保ってください	
リハビリ				・リハビリテーションが始まります		
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・深部静脈血栓症予防について説明します ・感染予防、転倒・転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います		・手術後、医師の説明があります		・ペットボトルで作成した肩外転装具を使用し、衣服の着脱やシャワー浴時の肩外転位のとり方を説明します	・「肩関節の手術を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生法について説明します
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・深呼吸、床上運動などの術前訓練をします ・肩の装具のつけ方や外し方を看護師と一緒に練習します ・手術に必要な物品を確認します 【必要物品】 ・T字帯1枚・スプーン、フォーク・ペットボトルの水 ・足を洗うための柄つきブラシ ・シャワー時に使用する2L用四角の固いペットボトル ・リハビリテーションで着用する靴やズボン	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていけます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、2階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください ・手の痺れや感覚が鈍い、手先が動かしにくい時、その他気になる症状があれば、すぐにナースコールでお知らせください ・深部静脈血栓症予防のため、足首の反り返しや膝の曲げ伸ばしを行ってください			
	・肩外転装具の代金は、保険診療外となるため一旦自費となりますが、健康保険給付の申請後に払い戻しがあります。申請用紙は業者がお渡しします					

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2025年3月承認